



東久留米市立久留米中学校

令和6年 11月 8日

久留米中だより

〒203-0052
東久留米市幸町5-9-11
TEL 042 (471) 0030
ファクシ 042 (472) 7994

教育目標 「知性を高める 心を豊かにする 体を鍛える」



「進路＝航海」

副校長 常世田 忠久

3年生はいよいよ久留米中学校卒業まで5ヶ月となりました。卒業後の進路が見えてきましたか。はっきりと見えている人、うっすらと見えている人、まだよく見えない人、それぞれだと思います。

ある民間会社の調査（2021年）で中学生が将来の夢を持っていないという結果が22.0%という回答で2割を超え、将来に夢を持ってない中学生は5人に1人はいるという状況報告があります。調査結果から多くの中学生が「中学生に将来のことは決められない。」「将来の事などわからない。」「夢などない。」と思っています。確かに学校でもそう感じる事が多々あり、どうしていいか分からなく不安な人が多いと思います。また、夢を持っていても幼い頃の夢と現在の夢、自分の適正など様々なことを考え悩んでいると思います。少なからず誰もが不安を抱えているのではないのでしょうか。久留米中の生徒の皆さんはどうでしょうか。

進路は「航海」と似ていると思います。時間を止めることができなく既に出発した中学生の進路です。航海は目標なく出発することはできません。進路も同じく目標なく出発はできません。何処へたどり着くのか分からない適当な出発をしていけば、なおさら不安になります。目標がなくては航海も進路も非常に不安になります。

航海では目的地が遠ければ遠いほど目標に向けて進んでも、さまようことがあります。それが無駄であるかといえばそうではありません。そこから新発見や意外な航路を見つけることもあります。進路も同じではないのでしょうか。目標を持ち出発すれば目標とは違っても出会う事柄に大きな意味を持つのではないのでしょうか。

大事なことはどちらも目標を持ち、進むことだと思います。進路に関してまずは目標を持ってください。できれば将来の職業目標を持ってもらいたいです。そして自分に合っていると思われる職業に向けて出発して様々な発見をしてください。途中、目標が変わってもいいではありませんか。目標に向けて進んでいけば決して無駄はありません。

更に出航するのは早ければ早いほど長い旅ができて、さまようことができます。3年生＝進路ではありません。1年生から出来るだけ早く進路という航海に出ましょう。3年間の航海ではより多くの新発見があるはずです。

困った時、迷った時に支えになる為に保護者の皆様も一緒に航海してください。保護者の皆様と一緒にどんな困難にも生徒は立ち向かえるはずです。

我々学校もそれぞれの進路という航海に3年間全力でサポートさせていただきます。そして、久留米中学生が3年間の素晴らしい航海を終え卒業する日が来ることを願っています。

久留米中生の活躍(表彰)

東久留米市市民中学生大会

・男子バレーボール部 優勝

東久留米市シード権大会

・男子バスケットボール部 優勝

生徒会

9月13日(金)に生徒会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。今年も実際に東久留米市の選挙で使われている投票箱と記載台を東久留米市選挙管理委員会にお借りしました。この日のために1学期から準備や計画を進めていた選挙管理委員の生徒は、全員がそれぞれの役割を全うし、選挙の成功に貢献してくれていてとても頼もしかったです。

また、立候補した生徒たちは1人1人が学校をよりよい場所にしていくための公約を考え、ポスターを書いたり、朝の挨拶運動を行ったり全力で選挙に取り組んでいました。さらに全校生徒が学校のことを考え、真剣な表情で演説を聞いていて、とても良い選挙になったと思います。

そして新しく選出された生徒会役員を中心に10月18日(金)に生徒総会が行われました。生徒会役員は、まだわからないことも多い中、自分から積極的に行動していました。まだ選出されたばかりだということにとっても立派でした。

さらに新しく委員長となった2年生の生徒たちも堂々と質問に答え、委員会の代表としての責務を果たしていて、これからの久留米中がさらによくなっていくと感じさせてくれました。

今後も生徒会役員や委員長たちを中心に生徒のため、学校のために活動していきますので、よろしくお願いいたします。
生徒会担当



必笑～未来に響け僕らの声春～



10月25日(金)天候は曇り、午後の久留米中学校体育館は拍手の嵐。3年生の歌声が体育館中に響き渡り、各クラスの合唱の後は拍手が鳴りやまなかった。

合唱のクラス練習が始まったのは、1ヶ月前。早めに始まったものの、限られた少ない練習日と練習時間で、合唱の仕上がりが思うように進まない様子が伺えた。どのクラスも初めから順調だったところはなかったように思う。それでも、本番に向けて毎日全力で練習に取り組む姿が印象的だった。

今年の合唱コンクールスローガンは「必笑～未来に響け僕らの声春～」。案を出してくれた実行委員の想いは、「必勝ではなく必笑。金賞は1クラスしか獲れないけど、クラスで最高を出し切ってみんなで笑って終わることは全クラスができる。それが私たちの青春。声で作るから声春！」。

閉会式。やはり金賞クラスは各学年1クラスしかなかったけれど、最後の全校生徒の写真の表情を見るとみんなとびきりの笑顔。スローガンが最高の形で表れていた。

保護者のみなさま、多くの御参観ありがとうございました。これからも御理解、御協力をよろしくお願いいたします。
合唱コンクール担当